

2020年12月16日(水)

「スポーツ哲学」

第13回目授業配布資料

各位

本日の授業内容は、以下の通りです。良く読んで、課題を取り組んでください。

(1) 本日の授業で用いる教科書の範囲

「第10章 オリンピックの倫理学」(pp.134-147)

(2) 本日の授業の流れ

1. 「第10章 オリンピックの倫理学」(pp.134-147)を通読してください

前回の授業に続き、スポーツが社会に位置づいているという前提をもとに、そこで生起する諸問題を哲学(倫理学)的な視点から学び、これからのスポーツのあるべき姿について考えてもらいます。(教科書の第Ⅲ部)

さて、本日のテーマは「オリンピック」についてです。皆さんは、「オリンピック」というイベントが、単に世界一の競技者を決めるだけでなく、とてつもない影響力をもっていることを、経験的に理解されていると推察します。すなわち、「オリンピック」は、現代社会において、体育・スポーツという領域を越えて、政治・経済や他の文化に大きな影響を及ぼしているということを指摘しているのです

例えば、オリンピック誘致の成功には、多くの政治家と政治的エネルギー(カネも含め)が動きますし、また、オリンピック招致国・都市は、結果的に経済的な恩恵を受けると考えられています。(実際に、2020東京オリンピック・パラリンピックもそうでした)

こうした機能を果たすスポーツイベントですが、過去を振り返ってみると、実は、そう明るいことばかりではありません。オリンピック招致をめぐるのは、不正や賄賂の問題がつきものでしたし、さらにいうと、「オリンピック」は、戦争により大きなダメージを受けたという苦い経験が何度もあるのです。

こうした状況に鑑み、本日の授業で皆さんには、これからのスポーツ文化の担い手として、オリンピックの過去から現在について倫理的な視点から学び、これからの「オリンピック」が持続可能なものとなる為に、何が必要なのか、あるいはまた、「オリンピック」がどうあるべきなのかを真摯に考えてもらいたいと思います。

2. わからなかったすべての用語や表現について、辞書・辞典、著書、あるいはインターネット等を使い、意味を調べ、それぞれ、ノートにまとめてください。その際、必ず出典を記述してください。また、インターネットから引用した場合は、URLを示

してください。

3. その上で、下記の2つのテーマについて論理的に作文し、ノートに記述してください。

- ①「オリンピック」をめぐる倫理的問題とは何か
- ②「オリンピック」はどうあるべきなのか

(3) 提出用ノートの使い方・作成方法の説明

1. ノートの表紙には授業実施年度、授業名、学籍番号、氏名を油性のペンで記してください。

例) 令和2年度、スポーツ哲学(水・1)、GH20〇〇、福岡良子

2. 原則、すべての授業で課題に取り組んでもらいますので、授業毎にページを改め、その冒頭には、授業名、何回目授業の課題か、学籍番号、氏名を、必ず記入してください。

例) スポーツ哲学(水・1)第〇回目授業の課題、GH20〇〇、福岡良子

3. ノートは見開きで使用し、目安として、ひとつの授業の課題をノートの2ページ程度の分量にまとめてください。スペースが足りない場合は、次のページを利用しても構いません。ただし、次の授業の課題は、ページを改めてください。

以上